

にいがた未来ビジョンとまち・ひと・しごと総合戦略の関係

にいがた未来ビジョン

・未来ビジョンは「人口減少、少子・超高齢社会」への対応を最重要課題として掲げ、新・新潟市総合計画による政令市の土台づくりから、第2ステージへと進めるために政策と施策の選択と集中を図り、持続可能なまちづくりを目指した総合計画。その方向性は国の掲げる地方創生を先取りしたもの。



- ・地方版総合戦略の策定を努力義務として規定
- ・地方創生に向け新たな交付金制度の創設を決定

まち・ひと・しごと創生総合戦略

・未来ビジョンで示した政策・施策を、本市の人口の将来展望を描いたうえで、少子化対策、雇用創出、新潟暮らしの魅力の発信・弱点克服といった視点で整理し、そこに新制度に基づく新たな視点(国の示す新たな方向性)を加え、重点的に取り組む施策を戦略としてまとめたもの。基本目標ごとに数値目標を設定するとともに、具体的な施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルによる進行管理を行う。

